

カンタムの多元素天然鉱石に関する説明

カンタムの多元素天然鉱石に関する説明

1、カンタムに使用されている主な多元素天然鉱石

・バリウム／ゲルマニウム／トリウム／ベリリウム／タンタル／ケイ素／トルマリン／ラジウム／その他

2、マイナスイオン数と放射線の量 μ シーベルトについて

①カンタムから放出される一イオン数は最大で $3600/\text{cm}^3$ 程度です。

②これを放射線量に換算すると約 3.6μ シーベルト(0.0036 ミリシーベルト)になります。

③国際放射線防護委員会(ICRP)は、1人当たりの自然放射線の年間被ばく量の上限を 2.4 ミリシーベルトに定めています。

3、カンタム関連商品の場合にラジウム鉱石が直接人体に接しているわけではありません。カンタムシートに直接マイナスイオンの計測器を接触させて計測した数値は 3600 程ありますが、カンタム関連商品はすべての商品は樹脂の容器に入れた状態のものです。容器の外側でマイナスイオンを計測した場合の数値は 1200 以下のわずかな数値です。ですから放射線の数値はさらに $1/3$ くらいに軽減されるのです。具体的には密閉された製品であることにより極めて安全であることが理解できます。

4、さらに詳細に計算をいたします。樹脂の容器にカンタムを入れた場合には $1/3$ になるわけですから、放射線の放出量は $0,0012$ ミリシーベルトです。カンタム製品を人が1時間身体に付けるか、手にしたした場合、 1 時間 $\times 365$ 日で $0,438$ ミリシーベルトになります。これは国際放射線防護委員会が示している年間上限被ばく量の $2,4$ ミリシーベルトの約5分の1以下です。

5、ちなみにガン治療で有名になった玉川温泉のラジウム鉱石からの放射線量は $5\sim 7$ マイクロシーベルトということですからこれとくらべてもいかに微量な数値であるか判断できると思います。

6、カンタムから放出されるマイナスイオンは安全で微量なラジウムからの放射線です。玉川温泉と同様にホルミシス効果を発揮する安全で有用なエネルギーです。